



みどりの里

宇奈月小学校だより
第3号
平成29年5月25日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

すくすく伸びる1年生の姿から

校長 四杉 昭康

1年生の生活科「学校探検」の学習のときのことで、探検バッグを抱えて、大勢の1年生の子供たちが「1年生の〇〇です。学校探検にきました。失礼します」と校長室を訪れてきます。部屋に入るとすぐに、見つけたことを口々に言い始めます。「棚の中にどうして金メダルや盾が飾ってあるんですか」「校長室にどうして金庫があるんですか？中に何が入っているんですか。お金ではありませんよね」「(歴代校長の写真を見て)この写真はだれですか。なぜ飾ってあるんですか。一番右側の人(岩井前校長)を知っています。保育園の卒園式でお話をされました」「ソファがあるのは、お客さんが座るからですか。全部で5人座れますね」「校長室って、きれいで何かいいですね」1年生は、五感を通して見付けたり気付いたりしたことを素直に表現しながら、様々な教室等の機能を捉え、学校への理解を深めているのが伝わってきます。



校長室を訪れ質問する1年生

また、英会話科の学習を参観していたときのことで、1年生の英会話科の授業は、ALTのヘンリー先生を中心に、チーム・ティーチングを進めています。この日は、入学して初めての英会話科の時間でした。ところが、ヘンリー先生からの「Hello! My name is ~. Nice to meet you. Thank you. See you.」の問いかけにも、1年生は英語でしっかり返答し、英語での会話が成立していることにとても驚きました。英語で挨拶をしてシールをもらおうと、ますます意欲が高まるようです。担任から「挨拶するとき、どのようにしたらいいかな？」の質問にも、「まず、挨拶をして、名前を言って、それから握手をする」「明るい笑顔で、大きな声で、元気よく名前を言う」と、とても得意気に話します。これまで保育所でも、外国人と接したり、簡単な英会話を使ったりした経験があるからなのでしょう。こうした姿を見ると、これからの小学校6年間で、かなり英会話の力が身に付くことが期待でき、本市独自の取組の素晴らしさを再認識します。

1年生の成長ぶりに負けないくらい他の学年も張り切っています。特に2年生は、お兄さんやお姉さんとして、「1年生のお世話をしたい」と、思いはますます膨らんでいます。5月11日の休み時間、昨年自分たちが栽培して採れたアサガオの種を「大切に育ててくださいね」と、1年生にプレゼントしていました。また、17日には、1年生と仲よくなるために楽しい集会を企画・運営していました。1年生と関わることで、2年生自身が、先輩としての自覚を高めているのです。



2年生が企画した楽しい集会

ゴールデンウィーク明けからは全校縦割り給食も始まり、1年生から6年生までが同じテーブルで和やかに食事をする姿が見られるようになりました。1年生自身の成長を嬉しく思うとともに、1年生を迎え学校全体が温かな雰囲気の中で、着実に歩み始めたことを実感しています。

早く1年生と仲よくなろう！ ……1年生歓迎集会から

4月28日（金）、児童会集会委員会が「1年生歓迎集会」を開催しました。6年生と手をつないで入場した後、一人一人が全校児童に向かって、大きな声で自分の名前や好きな食べ物、スポーツ等について自己紹介しました。また、2年生は、昨年度の「6年生を送る会」で演じた「おおきなかぶ」の劇を、1年生向けにアレンジして披露してくれました。パワーアップした2年生の姿も頼もしいものでした。1年生の仲間入りを全校で祝った楽しい集会となりました。



1年生の自己紹介「ぼくの名前は、〇〇です。好きな食べ物は〇〇〇です」



6年生と手をつないで入場



2年生の劇「おおきなかぶ」



「これからもよろしくね」

緑を守り育てる意識を高めて……花とみどりの少年団結成式

青少年育成市民会議下立支部の森下泰行さんをお招きして、今年度の「花とみどりの少年団」結成式を行いました。この活動は、例年5年生の総合の学習の一環としても位置付けている本校独自のものです。5年生を代表して団長の増山さんが力強く宣誓した後、講師の森下さんから「森林についての話」を聞きました。5年生は、地滑りや土石流等の土砂災害発生の仕組みをはじめ、地球温暖化の影響や植物の光合成の仕組み、森林の働き等、人間と自然の関わり方について、様々な面から学ぶことができました。特に、「森林には水を貯める力があり、はだかの山に比べて3倍も水を貯めることができます」という説明には、とても納得した様子でした。

終わりには、「災害が発生する仕組みが分かり、自然の大切さを学びました」「地球温暖化について詳しく理解できたので、花とみどりの少年団の活動を頑張ろうと思いました」「今度、イワナの放流体験があるので、とても楽しみです」などの感想を発表していました。

花とみどりの少年団活動の趣旨である『緑に親しみ』『緑を愛し』『緑を守り育てる』活動を通して、ふるさとを愛し、人を愛する心豊かな健康的で明るい人に育つことを心から願っています。



「森林は大切な働きをしているのです」



熱心にメモをとる5年生

記録を目指して 走った！跳んだ！投げた！・・・黒部市小学校連合体育大会より

5月19日（金）、宮野運動公園陸上競技場で第12回黒部市小学校連合体育大会が開催されました。天候にも恵まれ、本校の5・6年生86名は、各種目の競技に熱心に取り組み、素晴らしい成果を収めました。保護者の皆様には、長期間に渡って、子供たちへの励まし等、ご協力をいただき誠にありがとうございました。また、児童席テントの設営・片付けに進んでご協力をいただいた保護者の皆様をはじめ、応援に来てくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

宇奈月小5・6年生が一丸となって臨んだ連合体育大会

5年2組担任 館野 遥香

子供たちは、この大会に向けて、4月の中旬から約1か月間、晴れの日も雨の日も朝練習、業間練習、放課後練習と毎日一生懸命に練習に取り組んできました。最初の頃は、うまくハードルが跳べず、何度も転んでいた子供たちも、次第に上手になっていく姿にとっても驚きました。また、選手に選ばれた子供たちも、自分の記録に挑戦しようと放課後練習に力が入っていくようになりました。

本番では、どの子供も自分のベストを尽くそうと、真剣な眼差しでスタートラインに立っており、凛々しさが感じられました。練習の成果を出すことができた子供も、悔しい思いをした子供もいましたが、どんな結果であっても、この日まで一生懸命に練習してきた一人一人を大いに褒めてあげたいと思える頑張りでした。

大会の成績では、6年女子50mハードル走と6年女子走り高跳びでは、本校の子供が1位になりました。その他の種目の入賞を含め、本校は実に多くの入賞を勝ち取りました。選手もとても頑張っていました。それを後押しするかのよう、テントから聞こえる大きな応援の声。本校の5・6年生が、自己ベストを目指して他校の選手と競い合う姿や、テントに帰ってきた選手を拍手で迎える姿、入賞を告げる「宇奈月小学校！」のアナウンスに全員が喜ぶ姿に、大変感動しました。私は、子供たちが一丸となって勝ち取った数々の入賞や、一人一人のひたむきな姿をとっても誇らしく感じました。

これからの学校生活でも、学級、学年、そして学校が一つとなって様々なことに取り組み、子供たちが大きな舞台で活躍して行ってほしいと願っています。



ゴールを目指す力強い走り（100m走）



「バトンと心をつないで・・・」



整然とした力強い応援



見事な跳躍！



バネを生かして跳ぶ！



練習の成果を発揮した50mハードル走

手植えと機械植えのどちらも体験しました！……5年社会科「田植え体験学習」より

5月8日（月）、5年生がJAくろべ及び(有)グリーンパワーくろべの皆さんの指導の下、田植え体験学習を行いました。子供たちは、転がし枠で付けた目印の箇所、苗を丁寧に植えていました。また、大型の田植え機にも乗せていただき、手植えと機械植えそれぞれの特徴について、体験しながら学ぶことができました。秋にはお米が収穫できることを楽しみにしながら、稲の生長を見守りたいと思います。



「田んぼの感触が気持ちいいね」



「苗は3本ずつ植えるんだね」



「田植え機ってすごいな」

大きく育ってね！……5年イワナの放流体験

5月17日（水）、黒部川内水面漁業協同組合宇奈月支部の中毅士さんと青少年育成市民会議下立支部の皆さんにお世話いただき、5年生が舟子川の上流域でイワナの放流体験をしました。約1000匹のイワナの幼魚（成魚と稚魚の中間）の放流を通して、自然に親しみ、ふるさとへの愛着を深めました。



「イワナは冷たい水を好み……」



「成魚になったら30cmくらいに……」



「山菜採りや笹舟づくりをしたよ」

その他の学校生活から



3年学活 自転車安全運転練習



4年社会 消防署の見学



3・4年総合 サツマイモの苗植え



5年総合 ホテルについての学習